

令和 7 年度外部評価「核融合科学学際連携センター開発研究連携部門」「安全衛生推進センター放射線管理」の評価の観点（案）

令和 7 年度に実施する「核融合科学学際連携センター開発研究連携部門」、「安全衛生推進センター放射線管理」に関する外部評価について、その評価の観点を下記のとおり定める。評価の観点の各項目は、核融合科学研究所が大学共同利用機関として実施してきた研究等の活動の妥当性と達成度の評価を基本としつつ、令和 3 年度～令和 5 年度に取りまとめられた「今後の核融合科学研究所の在り方についての提言」、「今後の共同研究の在り方についての提言」、「今後の大型研究施設計画の在り方についての提言」に照らした今後の方向性と戦略をも問うものとする。

記

1. 核融合科学学際連携センター開発研究連携部門

- (1) 部門の活動により、ITER 計画・幅広いアプローチ (BA) 活動・原型炉開発に関する共同研究がこれらの実施主体である量子科学技術研究開発機構との協力のもとに円滑に運営・実施されているか。
- (2) 部門の戦略は、研究所の基本方針である「核融合科学の学際化」を開発研究連携の観点から活かし、またこれを促すものとなっているか。
- (3) 研究ネットワークの構築、異分野連携、国際共同研究の推進を支援するための体制を整備し、動向調査、調整、外部資金獲得支援などを担う取組を進めているか。

※1 対象部門の活動の評価を主とするが、他部門との連携についても合わせて評価する。

- (4) ユニットの活動を、開発研究の前線へ展開させるイニシアティブを発揮しているか。
- (5) 核融合開発における国内外の制度設計や人材育成に貢献しているか。

2. 安全衛生推進センター放射線管理

- (1) 関連法令を遵守し、核融合研究施設における放射線管理のための組織、体制等を適切に構築し、運用しているか。
- (2) 大学共同利用機関として、所員及び共同研究者などの所外者に対する放射線教育、従事者管理を適切に行っているか。
- (3) 放射線管理のための機器・設備、管理システム等は、核融合研究施設及び研究所に固有の特徴・事情を考慮されたものとなっているか。また、それらは維持管理を含めて適切に運用されているか。
- (4) LHD 実験完了後の放射線管理に関わる計画と運用は、適切かつ合理的なものとなっているか。